

三番瀬自然環境総合解析スケジュール（案）

	委員会等	報告内容
7月7日	第16回評価委員会	スケジュール（案）、解析手法（案）
10月	第17回評価委員会	現況整理 評価
	小委員会（随時開催）	
11月中旬	第18回評価委員会	物理化学的環境と生物との関係性整理 海域区分とその変化状況予測 評価 調査等の提案 <この後、再生会議に報告>

※詳細な解析作業は下記の3検討会において行い、随時開催する予定。

検討会委員で検討会に参加できなかった委員とはメール等で調整を行う。

また、小委員会は各検討会の取りまとめを行い、少なくとも各検討会委員1名と細川座長または蓮尾副座長を中心に構成する。

検討会	検討内容
地形・流況・水質 作業部門検討会	水の流れと地形等の物理環境として水質、波高、水流のモニタリング調査、深浅測量調査の結果及び外部調査結果を用い、三番瀬の潮流及び波浪のシミュレーション作業によって類推し、地形の変化状況との関係を見て、三番瀬の水環境と地形のこれまでの変遷の確認と、それを踏まえた今後の状況を予測する。
海生生物 作業部門検討会	底生生物、魚類、付着生物等の各海生生物の調査結果及び外部調査結果を用い、各々の変化傾向を併せ、水環境と地形の影響及び生物間の相互影響の可能性も加味しながら共通の傾向の有無を検討する。
鳥類作業部門検討会	鳥類の個体数調査、行動調査の結果及び外部調査結果を用い、鳥類の個体数、行動について、傾向的な変化があるかどうかを検討する。このとき、物理環境と海生生物の作業部門検討結果も判断の材料とする。